

特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

ひきこもりの理解促進と 支援力向上のための研修会 (オンライン開催) 2022年度 基礎編

1日目: 2023年1月28日(土) 9:20~16:55

2日目: 2023年1月29日(日) 9:20~16:55

今年度の基礎編は2日間続けての開催になります(定員:200名)

ひきこもりの問題は社会的孤立の問題として喫緊の課題として認識されておりますが、支援実践の場ではひきこもり支援に対して苦慮の声が今なお多数ございます。ひきこもる本人への支援に行き詰り、本人や家族と信頼構築に至らないことを悩む声も少なくありません。特に8050世帯では、親の要介護や貧困といった複合的な問題を抱えるケースが多く、一機関では対応しきれない状況もあり、多機関・多職種連携が求められております。

KHJ全国ひきこもり家族会連合会では、家族会(当事者団体)として専門職や有識者と連携しながら、長くひきこもり支援を実践してきました。積み上げた実績や研究結果に基づいて、支援者を対象にひきこもりに関する諸問題や支援策について研修会を2017年度から実施しております。過去の研修会参加者からの満足度も大変高く「ひきこもりの相談対応や支援実践活動の参考になった」との評価を多数頂いております。

今年度もKHJでは「基礎編」と「実践編」の2部構成で研修会を開催します。

「基礎編」では、ひきこもり支援に関する基礎的な知識と併せて、互いを理解し合う関わり合いから信頼関係を築く自己理解ワークショップを行います。「実践編」では、実際の支援事例から得た成果をお示ししながら、KHJのひきこもりピアサポーターとのセッションを通じて、より本人や家族の視点に立った内容となっております。

コロナ禍の影響を勘案し、本研修会はZoomを用いたオンラインで開催いたします。ご自宅や、職場からPCなどで研修に参加いただけます。

詳細は次頁以降をご参照ください。本研修を通じまして、より現場の活動に反映できる機会となれば幸いです。

基礎編をご受講された方は、引き続き今年度の「実践編」にお申込みができます

研修項目	開催日
① 本人支援とピアサポート	2023年2月18日(土)
② 家族支援	2022年2月19日(日)
③ 地域づくり	2022年2月23日(木・祝)
④ 多様な状況における支援	2022年2月27日(土)

実践編のお申込みは「基礎編」終了後に受付開始になります
詳細は実践編「開催要項」をご確認ください

1. 研修内容

1日目: 2023年1月28日(土)

No.	研修時間	研修内容
1	9:30~11:45 (休憩15分を挟みます)	「ひきこもり支援に携わる上での基本事項と理念」 ・ひきこもりを取り巻く現状と支援の基本的過程を学びます 「家族支援の基本的理解」 ・家族支援の必要性、家族の心理とケア、支援方法、アセスメントを学びます 講師: 境 泉洋 (公認心理師、臨床心理士) 宮崎大学教育学部 教授、KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長
2	12:00~12:45	「親とは異なる兄弟姉妹への支援アプローチ」 ・ひきこもりのきょうだいがいる方の置かれた状況と、その支援過程を学びます 講師: 深谷 守貞 (社会福祉士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー
	12:45~13:45	昼休憩 ※13:45までに画面の前にお戻りください
3	13:45~14:30	「本人及び家族が支援者に望むこと」 ・ひきこもり本人・家族の思いを受け止め、対等な支援について学びます 講師: 丸山 康彦 (ヒューマンスタジオ代表) 不登校・ひきこもり経験者、経験を踏まえての支援活動を実践
4	14:45~15:45	「家族会・居場所・ピア活動への理解」 ・家族会、居場所の必要性と活用、家族会や居場所活動の支援について学びます 講師: 斎藤 まさ子 (保健学博士 ライフサイエンス/臨床看護学) 長岡崇徳大学看護学部 教授
5	16:00~16:45	事例発表「本人・家族が支援を回避、または途絶する理由」 ・本人、家族の心情理解に基づき、寄り添うまなざしや、信頼関係づくりへの気づきを促す事例発表です 講師: 上田 理香 (公認心理師、家族支援士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長・ピアサポーター

※

基礎編研修会の1日目・2日目とも、講義の最後に15分間の質疑応答の時間を設けています。

2日目: 2023年1月29日(日)

No.	研修時間	研修内容
1	9:30~10:45	<p>「ひきこもり本人の身体的・精神的状況の理解」 ・精神保健や地域保健におけるひきこもりの医療的支援、本人を医療につなげる見立てについて学びます</p> <p>講師: 加藤 隆弘 (精神科医師) 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 准教授</p>
2	11:00~12:15	<p>「ひきこもりの背景にある社会的状況の理解」 ・社会的背景を踏まえた本人、家族の生活を支える社会資源と社会制度の活用、ひきこもりの社会福祉的支援について学びます</p> <p>講師: 中井 俊雄 (認定社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師) ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授</p>
	12:15~13:15	昼休憩 ※13:15までに画面の前にお戻りください
3	13:15~14:30	<p>「ひきこもり本人の心的状況の理解」 ・本人の個別支援における心理的側面からのアセスメント、本人への関わり方の支援過程について学びます</p> <p>講師: 竹中 哲夫 (臨床心理士) 日本福祉大学 名誉教授</p>
4	14:45~16:45	<p>演習「ピアサポートの理念と自己理解ワークショップ」 最初に20分「KHJピアサポートの理念・実践例について」について講義を行い、その後でグループに分かれて「人生曲線」を用いたワークショップを行います。</p> <p>・家族会では、本人や家族と接していく際に、問題のある人を変えようという上下のまなざしではなく、互いに人と人に関わり合っていくという対等性から、信頼関係を築いています。本演習では「人生曲線」を用いて、互いの人生から、共に学び合うことを目的とします。</p> <p>担当: 上田 理香 (公認心理師、家族支援士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長・ピアサポーター</p> <p>担当: 山本 洋見 (家族支援士、KHJ家族ピアサポーター) KHJ静岡県支部: NPO法人てくてく 代表</p>

※

2日目最後のワークショップですが、自己開示に困難を有する場合は、ワークショップへの参加をご辞退することも可能です。またワークショップの最中に休憩や退出も可能になります。

研修当日のご判断で大丈夫ですので、最初の20分の「KHJピアサポートの理念・実践例について」をお聞きの上、ワークショップへの参加をご判断ください。

2. 参加対象

ひきこもりの支援活動に携わり、実際にひきこもりのケースを有している方
ひきこもり支援に関心のある方（各コース200名ずつ）

3. 参加費 13,000円 ※研修会は個人でのお申込みになります

=お申込みの手順と研修の参加方法=

参加をご希望の際は、下記の項目をご記入のうえ必ず「メール」で、お申し込みください。

- (1) お名前(ふりがな) (2) ご所属 (3) 郵便番号・住所 (4) 電話番号(研修当日に連絡がつく番号)
(5) 研修に参加される方のメールアドレス

※一つの事業所で複数名の参加を希望される場合は、参加する方全員分のお名前と
個々のメールアドレス・電話番号も必ずお書き添えください。

※請求書や領収書が必要な場合は、お申込み時にその旨をご記入ください。

【お申し込みのアドレス】(lecture は「レクチャー」の綴りです)

lecture@khj-h.com 「KHJ ひきこもり支援研修(オンライン基礎編)」係

※メールにて「参加費振込案内」をご返信いたします。

【申込締切】 2023年1月25日(水) ※個人情報適切に管理し、研修事業のみに使用いたします。

お申込みされた方には締切日(1/25)以降に、
「研修テキスト」のダウンロード先、及び「参加される Zoom アドレス」の ID とパスワード、
テキストのダウンロードの URL をお申込み時のメールアドレスにお送りします。
事前にテキストをダウンロードの上、研修にご参加ください。

参加者自身の PC 環境の不具合などによる接続の不具合、画像の乱れ、
また不具合による研修不参加については、当会では対応できかねます。
お手持ちの端末の Wi-fi 環境などは十分にご留意ください。
予めご了承ください。

問い合わせにつきましては全て、メール(lecture@khj-h.com)にてご対応申し上げます。

=お問い合わせ=

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

E-mail: lecture@khj-h.com Homepage: <http://www.khj-h.com>